

### 設問 1

**登録基幹技能者制度に関する記述として、誤っているものはどれか。**

- イ 国土交通大臣が登録した機関が実施する登録基幹技能者講習の修了者は、登録基幹技能者として位置付けられる
- ロ 優秀施工者国土交通大臣顕彰者(建設マスター)も登録基幹技能者講習の受講資格要件である
- ハ 登録基幹技能者は、10年毎の更新により能力水準を担保している
- ニ 登録基幹技能者は、工事の品質向上のみならず、建設産業の担い手の確保・育成に寄与することが期待されている

### 設問 2

**登録基幹技能者に求められる資質として、誤っているものはどれか。**

- イ 強力なリーダーシップを発揮する
- ロ リーダーとして約束を守り信頼を得る
- ハ 問題点を決断せずそのまま保留する
- ニ 理屈を並べる前にまず実行する

### 設問 3

**基幹技能者の役割に関する記述として、誤っているものはどれか。**

- イ 現場の作業を効率的に行うための技能者の適切な配置、作業方法、作業手順等の構成を図る
- ロ 生産グループ内の技能者に対する施工に係る指示、指導を行う
- ハ 現場の状況に応じた施工方法等の提案、調整を行う
- ニ 他の職長や部下の意見提案に耳を傾けることなく、自らの意思で行動する

### 設問 4

**職能としての技能に関する記述として、誤っているものはどれか。**

- イ その職人にしか出せない「手作りの味」が求められる
- ロ 徹底的にブレを排した正確無比の再現性が求められる
- ハ 人は機械とは違い創意工夫や改善を行うことができる
- ニ 人は機械とは違い臨機応変な現場対応ができる

### 設問 5

**基幹技能者制度の意義の記述①～④のうち、誤っているものはいくつあるか。**

- ①国土交通省が「技能者」という言葉を認定した
- ②国土交通省が単なる「名称独占」に終わらない制度として推進している
- ③技能者の最高位として業界全体が認知する共通の尺度ができた
- ④基幹技能者は建築のものづくりを支える人である

- イ 0            ロ 1            ハ 2            ニ 3

## 設問 6

**OJT教育の特質の記述として、正しいものはどれか。**

- イ OJTは上司の仕事そのものである
- ロ 成長を促すため、部下のペースよりテンポを速くする
- ハ 先入観が生じないように、外部との接触は規制する
- ニ 失敗はつきものなので、仕事のペースが落ちるのはやむを得ない

## 設問 7

**能力開発に関する記述として、誤っているものはどれか。**

- イ 伸ばしやすい部分を伸ばし、成長感を味わえるようにする
- ロ ヒトの能力は無限なので、目標レベルは設定しない
- ハ 指導者以上の部下を育てることが理想である
- ニ 能力開発にはレベルの高いライバルの存在が重要である

## 設問 8

**5Sと作業環境の管理の記述として、誤っているものはどれか。**

- イ 5Sとは「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「信頼」の頭文字をとったものである
- ロ 5S活動は安全管理や品質向上を目的として推進される
- ハ モノを探す時間の削減効果があり、生産性の向上が期待できる
- ニ 「整理」は使用しないもの、いらぬものを捨てることである

## 設問 9

**面談指導のポイントの記述として、誤っているものはどれか。**

- イ 報告を受ける時に指導する
- ロ 問題と原因の整理を行い、未達成の部分の責任追及を行う
- ハ 本人の悩み、問題点を聞き取る
- ニ ねぎらいの言葉や明日への期待の言葉をかける

## 設問 10

**上司と部下の関係の記述として、誤っているものはどれか。**

- イ 単純で効果的な質問で相手の問題意識を高めるとよい
- ロ 部下の中にある答えを引き出す援助をするとよい
- ハ 部下の話聞きながら、上司は最適な方法を頭の中で考えるとよい
- ニ 発破をかけすぎることはよくない

**設問 1 1**

**アルミニウム合金の特性に関する記述として、正しいものはどれか。**

- イ アルミニウムの比重は鉄の約2分の1程度である
- ロ 融点が660℃と低いために加工が難しく、押出型材等が作りにくい
- ハ 鉄の約3倍の熱膨張がある
- ニ 銅や真鍮の金属と取合い、湿潤化するとアルミが腐食する

**設問 1 2**

**カーテンウォールの特長に関する記述として、誤っているものはどれか。**

- イ 耐力壁として使用できる
- ロ 工期の短縮が可能になる
- ハ 有効面積が広く利用できる
- ニ 建物の軽量化が図られる

**設問 1 3**

**サッシアンカーの固定に関する記述として、誤っているものはどれか。**

- イ アンカーは建具に相応したもので、その間隔（ピッチ）は端部を押えて、中間部は500mm以下とする
- ロ 連結鉄筋の溶接は必ずアンカー部より取り、障子又は扉重量の加わる部分は入念に溶接を行う
- ハ 溶接作業は溶接電流を適正にし、アークを安定させる必要がある
- ニ 乾式工法で枠周りにモルタルを充填しない場合は、溶接スラグを取り除くことなく防錆処理塗装を施す

**設問 1 4**

**シーリング工事に関する記述として、正しいものはどれか。**

- イ ボンドブレイカーは、目地幅の調整の役目をする
- ロ バックアップ材は、三面接着の確保の役目をする
- ハ プライマーは、接着面とシーリング材の接着性を良くするために使用する
- ニ マスキングテープは、シーリング材が硬化した後、除去する

**設問 1 5**

**サッシ及びドアの付属部品とその保全方法の組合せとして、誤っているものはどれか。**

- | (付属部品)        | (保全方法)   |
|---------------|----------|
| イ ねじ          | 締付け      |
| ロ シリンダ錠のシリンダ部 | 注油       |
| ハ 気密材         | 清掃または取替え |
| ニ 掛金物、締付け金物   | 取替え      |

**設問16**

**建設業許可の記述①～④のうち、誤っているものはいくつあるか。**

- ① 29の専門工事業に区分されている建設業許可は、同時に複数の工種の許可を取得することはできない
- ② 500万円未満の工事（工事金額は消費税、特別地方消費税を含む）は、建設業許可の必要はない
- ③ 一般建設業の許可業者は、5億円のカーテンウォール工事を下請負いすることができない
- ④ 建設業許可の有効期限は、許可を受けてから5年間、以降5年ごとの更新が必要である

イ 0            ロ 1            ハ 2            ニ 3

**設問17**

**施工体制台帳の記述として、誤っているものはどれか。**

- イ 品質・工程・安全などの施工上のトラブルの発生を防止する
- ロ 生産効率の低下につながる安易な重層下請を防止する
- ハ 不良不適格業者の参入や建設業法違反が無いことを証明する
- ニ 原本は工事現場に保管する必要はない

**設問18**

**常時50人以上の労働者が混在作業する建設現場の安全衛生組織の役割で、元請以外の請負人が、業種や規模・回数に関係なく、選任する義務があるものはどれか。**

- イ 安全衛生責任者
- ロ 作業主任者
- ハ 元方安全衛生管理者
- ニ 総括安全衛生管理者

**設問19**

**粉じん障害防止規則の記述①～④のうち、正しいものはいくつあるか。**

- ① 屋外で行うアーク溶接作業は、粉じん作業に分類されている
- ② 屋外で行う手持式又は可搬式動力工具を用いて岩石又は鉱物を裁断し、彫り、又は仕上げる作業は、粉じん作業に分類されている
- ③ 粉じん作業には粉じん作業特別教育が義務付けられている
- ④ 粉じん作業を行う場合、国家検定品（DS2/RS2）の防じんマスクの使用を推奨している

イ 0            ロ 1            ハ 2            ニ 3

## 設問20

特別教育の対象となる、足場の組立て等の作業にあたる業務はどれか。

- イ 脚立、可搬式作業台の移動
- ロ 製品の搬入・取付時の筋交い、布板の一時撤去と復旧作業
- ハ 5 m以上の高さの枠組み足場の設置
- ニ 5 m以上の高さのローリングタワーの解体

## 設問21

足場の点検に係る規制について、誤っているものはどれか。

- イ その日の作業を開始する前に、設備の取り外し及び脱落の有無について点検する
- ロ 足場における高さ2 m以上の作業場所に設けられた作業床の要件で幅は40 cm以上床材間の間隔は3 cm以下、床材と建地とのすき間は12 cm未満とする
- ハ 足場の筋交い・布板などを取り外したまま放置又は変更状態中に関係者以外立ち入り禁止の措置を行わなかった
- ニ 足場の点検を行う際、点検者を指名することが義務付けられた

## 設問22

墜落制止用器具の記述として、誤っているものはどれか。

- イ 6.75 mを超える箇所では、フルハーネス型を選定する
- ロ 着用者の体重及びその装備品の重量の合計に耐えるものを使用する
- ハ ショックアブソーバは、フック位置によって適切な種別を選定する
- ニ 点検の結果、摩耗が見られたが、使用期限内のため引き続き使用した

## 設問23

化学物質のリスクアセスメントにおいて、GHS ラベルの絵表示と注意書きの組み合わせとして、誤っているものはどれか。

- イ 可燃性 / 引火性ガス、引火性液体、可燃性固体など
- ロ 急性毒性（区分4）、皮膚刺激性、眼刺激性など
- ハ 死の危険性
- ニ 呼吸器感作性、生殖細胞変異原性、発がん性など



設問24

建設工事の特徴に関する記述として、誤っているものはどれか。

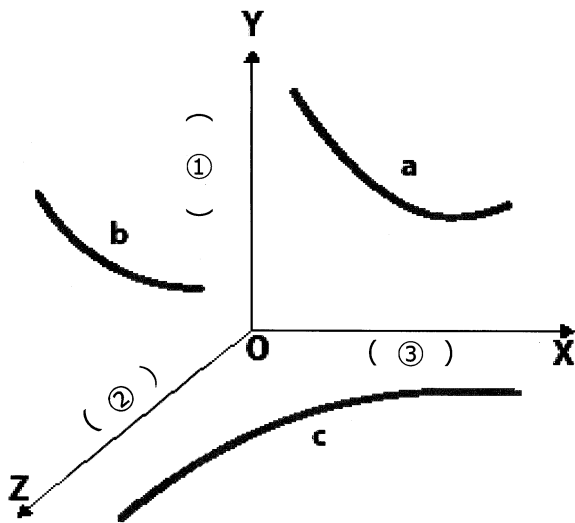
- イ 受注一品生産である
- ロ 「生産管理」とは、建設工事における管理をいう
- ハ 天候・自然の不確定要素に左右される
- ニ 社会的制約を受ける

設問25

下図の a, b, c の曲線は、建設工事の工程・原価・品質の相互関連性を示したものである。

図中の各軸の ( ① ) ( ② ) ( ③ ) に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

ただし、各軸は、原点 0 から遠ざかるにしたがって、工程の場合は「よりはよい」、原価の場合は「よりたかい」、品質の場合は「よりよい」ものとする。



|   | ①  | ②  | ③  |
|---|----|----|----|
| イ | 工程 | 原価 | 品質 |
| ロ | 原価 | 品質 | 工程 |
| ハ | 原価 | 工程 | 品質 |
| ニ | 品質 | 原価 | 工程 |

設問26

建設リサイクル法に規定された「特定建設資材廃棄物」に該当しないものはいくつあるか。

- ①建設発生土
- ②建設発生木材
- ③建設汚泥
- ④金属くず

- イ 1      ロ 2      ハ 3      ニ 4

設問27

施工要領書作成上の注意事項の記述①～④のうち、正しいものはいくつあるか。

- ①一般的に常識的な事項であっても記載する
- ②図面には納まり、寸法、材料名称を記載し、材質等は省略する
- ③施工方法は出来るだけ部分詳細図、図表等を主体とし、わかりやすいように記載する
- ④施工要領書は原則として工種ごとに作成する

イ 0      ロ 1      ハ 2      ニ 3

設問28

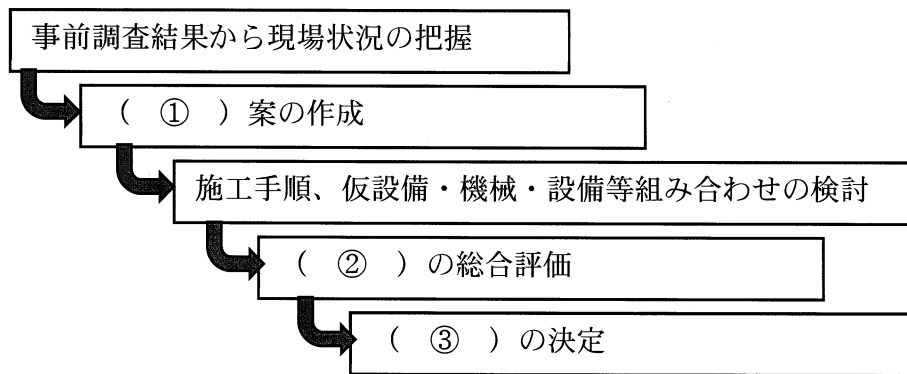
文中の( )内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

ハインリッヒの法則によれば、( ① )が発生する背景には、( ② )と、( ③ )に至らなかった、「ヒヤリ」、「ハット」で終わった事例があるとされている。

|   | ①          | ②          | ③          |
|---|------------|------------|------------|
| イ | 300件の怪我や事故 | 29件の軽微な事故  | 1件の重大災害    |
| ロ | 29件の軽微な事故  | 300件のケガや事故 | 1件の重大災害    |
| ハ | 1件の重大災害    | 29件の軽微な事故  | 300件の怪我や事故 |
| ニ | 1件の重大災害    | 300件の怪我や事故 | 29件の軽微な事故  |

設問29

基本計画の作成手順の( ① ) ( ② ) ( ③ )に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。



|   | ①        | ②        | ③        |
|---|----------|----------|----------|
| イ | 複数の施工法   | 工程・工費・安全 | 最適施工法    |
| ロ | 複数の施工法   | 最適施工法    | 工程・工費・安全 |
| ハ | 工程・工費・安全 | 最適施工法    | 複数の施工法   |
| ニ | 最適施工法    | 工程・工費・安全 | 複数の施工法   |

### 設問30

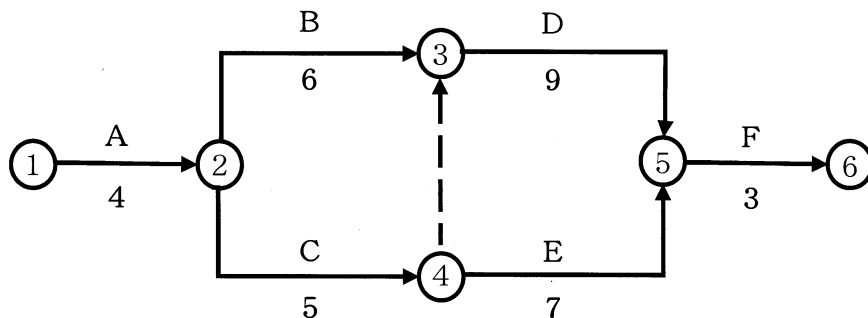
作業手順書に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ 作業手順とは、作業内容を主なステップに分解し、作業を進めるために最も良い順序に並べ、ステップごとに勘所、コツ、安全のポイントの急所を付け加えたもの
- ロ 作業手順書の目的は、新入社員や未熟練作業員に、仕事を「安全で、正確に、早く」教えるために必要なもの
- ハ 作業手順書の作成上の留意点として、現場の実情に合ったものであること
- ニ 作業手順書の効果として、ベテランの職長が作り上げたので、ムリなく実行できる

### 設問31

下記のネットワークにおいて、クリティカルパスの経路はどれか。

アルファベットは作業名を表し、アルファベットの下の数値は所要日数を表すものとする。



- イ A → B → D → F
- ロ A → B → E → F
- ハ A → C → D → F
- ニ A → C → E → F

### 設問32

工程表の横軸に達成度（進行度合）を表す工程表はどれか。

- イ ネットワーク工程表
- ロ ガントチャート工程表
- ハ 斜線式工程表
- ニ バーチャート工程表



設問33

工程計画の基本的なフローとして、( )内に当てはまる語句はどれか。

各工程の施工手順の決定 → 作業日程の算定 → ( ) → 工程表の作成

- イ 機械、設備の規模・台数などの決定
- ロ 主任技術者の決定
- ハ 再下請けを含めた施工体制の決定
- ニ 有資格者の決定

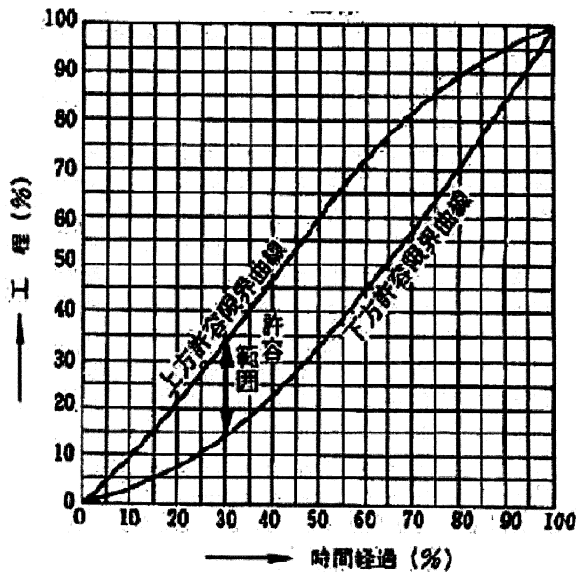
設問34

日程計画を作成する上で基準とされるものは、「所要作業日数」とどれか。

- イ 一日当たりの最大施工量
- ロ 一日当たりの最小施工量
- ハ 一日当たりの平均施工量
- ニ 一日当たりの目標施工量

設問35

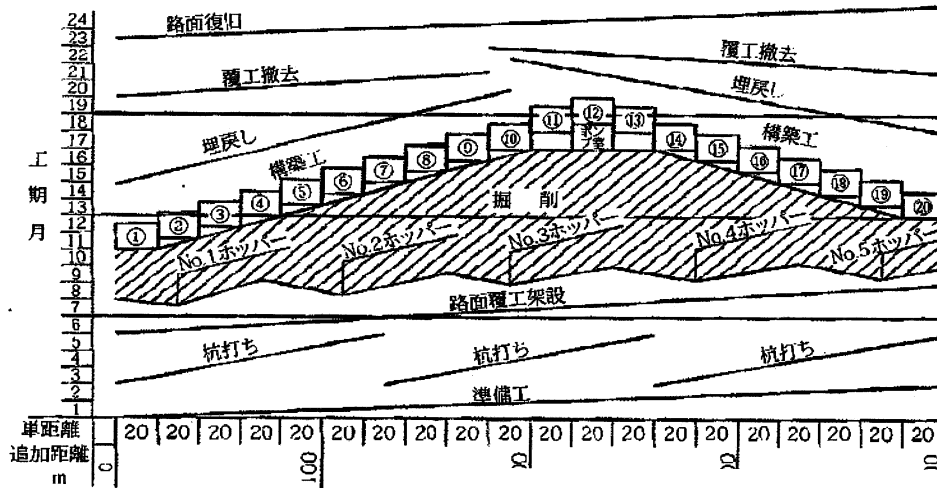
以下で表される工程表を何というか。



- イ 工程管理曲線
- ロ 横線式工程表
- ハ ネットワーク式工程表
- ニ ガントチャート

設問36

以下で表される工程表を何というか。



- イ 工程管理曲線
- ロ 斜線式工程表
- ハ ネットワーク式工程表
- ニ ガントチャート

設問37

受入検査に関する記述①～④のうち、誤っているものはいくつあるか。

- ①搬入された資材に破損や変質等の異常がないか
- ②納品書の内容と搬入された資材の仕様の相違や数量の不足がないか
- ③本体資材に問題がなければ付属品については検査を省いてもよい
- ④購入依頼した内容と納品書等の内容が一致しているか

- イ 0      ロ 1      ハ 2      ニ 3

設問38

積載制限に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ 長さは車体全長の1.1倍をはみ出さないこと
- ロ 高さ制限は道路交通法改正で指定路線では4.2mを超えなければ許可を受けなくても通行可能となった
- ハ 幅は自動車の幅からはみ出さないこと
- ニ 指定路線以外を通行する車両高さは3.8mを超えないこと

**設問39**

**保管場所に関する記述として、誤っているものはどれか。**

- イ 可能な限り開口部に近い場所を確保する
- ロ 飛来、落下物等による製品損傷の恐れのないこと
- ハ 保管中に他職の作業により移動のないことを検討しておく
- ニ 製品の出し入れに支障をきたさぬ広さが確保されていること

**設問40**

**揚重計画に関する記述①～④のうち、正しいものはいくつあるか。**

- ①資材の大きさ、重量、数量等から荷姿、梱包方法を検討する
- ②資材によってどの揚重方法や機器が最適か検討する
- ③揚重機器の効率を考慮して計画する
- ④資材の保管場所は職長と十分に打合せして決定する

イ 0      ロ 1      ハ 2      ニ 3

**設問41**

**次の保管管理に関する記述として、誤っているものはどれか。**

- イ 標識、カラーコーン、ロープ囲い等により保管場所を明示する
- ロ 製品をコンテナ等に載せたまま保管する場合は急な移動に備え車止めを解除しておく
- ハ 製品の取付順序を考慮して配列保管する（先出し、後入れ）
- ニ 長尺材等は床上に枕木を敷き平置き保管する

**設問42**

**i-Construction に関連する記述①～④のうち、正しいものはいくつあるか。**

- ①施工時期の平準化
- ②作業工程の複雑化
- ③ICT技術の全面的な活用
- ④現場作業の効率化

イ 0      ロ 1      ハ 2      ニ 3

**設問43**

文中の（ ）内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

建設業者は建設工事の請負契約を締結するに際して、工事内容に応じ（ ① ）に材料費、労務費、その他経費の内訳を明らかにして建設工事の（ ② ）を行うよう努めなければならない（建設業法第20条の1）。

- |   | ①      | ②    |
|---|--------|------|
| イ | 工事工程ごと | 実行予算 |
| ロ | 工事工程ごと | 見積り  |
| ハ | 作業者ごと  | 実行予算 |
| ニ | 工事種別ごと | 見積り  |

**設問44**

文中の（ ）内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

進捗率と投入率を用いた原価管理で、進捗率 $\leq$ 投入率の場合

最終的に予定人工を上回る可能性があり（ ）傾向なため対策を講じる必要がある。

- イ 減益
- ロ 停滞
- ハ 遅延
- ニ 増益

**設問45**

コストダウンの着眼点として、誤っているものはどれか。

- イ 合理的なケチをすすめる
- ロ 見えない原価に気をつける
- ハ 管理の目を粗くする
- ニ 常に生産性の向上に努力する

**設問46**

文中の（ ）内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

原価管理とは、発注者が満足する工事の質を維持し、定められた工期内で（ ）を確保するために工事費を管理する業務をいう。

- イ 仕上げの良さ
- ロ 適正な利潤
- ハ 人員の適正配置
- ニ 安い労務費

**設問47**

文中の（ ）内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

原価要素とは、原価を構成する要素であり、材料費、（ ① ）、経費の三要素に分類するのが一般的だが、建設工事ではこれらに（ ② ）を加え、「建設業の4原価要素」と呼ぶ。

- |   | ①     | ②     |
|---|-------|-------|
| イ | 労務費   | 外注費   |
| ロ | 労務費   | 法定福利費 |
| ハ | 法定福利費 | 労務費   |
| ニ | 外注費   | 労務費   |

**設問48**

文中の（ ）内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

基礎日額とは、作業者の日当の平均値とその（ ）費用を加えた労務費である。

- イ 直接的な
- ロ 間接的な
- ハ 法定福利
- ニ 損害補償

**設問49**

品質管理の基本的な手法として、誤っているものはどれか。

- イ KYK
- ロ 散布図
- ハ チェックシート
- ニ パレート図

**設問50**

施工段階で実現する品質はどれか。

- イ ねらいの品質
- ロ 出来ばえの品質
- ハ 企画品質
- ニ 使用品質

**設問5 1**

文中の（ ）内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

「後工程は（ ）」「品質は工程で造り込む、検査では造れない」

- イ お客様
- ロ 真心
- ハ 工場
- ニ 技術重視

**設問5 2**

品質管理に関する記述として、誤っているものはどれか。

- イ 自主検査は最終工程で実施する
- ロ 取付け許容誤差内に入っていることを確認する
- ハ 不具合があった時に適切な指示をし、結果を確認する
- ニ 施工図、施工要領書に従って作業する

**設問5 3**

一般に品質管理活動は、企業全体の参加、協力、統制が必要であるが、こうして行われる品質管理を何というか。

- イ 総合的品質管理
- ロ 統括的品質管理
- ハ 全体的品質管理
- ニ 集合的品質管理

**設問5 4**

品質問題に関わる要因について発生頻度の高い順に並べ、それぞれの頻度を棒グラフで、その累積の頻度を折れ線グラフで表現した図を何というか。

- イ 層別
- ロ 特性要因図
- ハ 散布図
- ニ パレート図

### 設問55

**墜落転落災害防止対策の記述①～④のうち、誤っているものはいくつあるか。**

- ①足場の解体・組立て作業を行う時には、手すり先行工法の導入に努めるとよい
- ②脚立の正しい使い方には、天板に乗らない、身を乗り出して作業をしない、脚立を背にし降りない、昇降時に手をあけておく、などがある
- ③はしご上で作業をする時には、はしごの上端を60cm以上突出させ、足元が滑らないようにしてはしごを固定する
- ④高さが2m以上のところでの作業通路は、幅が40cm以上とし、かつ、床材のすき間が3cm以下、手すりは床面からの高さは85cm以上で、中さんと必要に応じ幅木を設ける

イ 0            ロ 1            ハ 2            ニ 3

### 設問56

**熱中症が疑われた時の応急対策の記述①～④のうち、誤っているものはいくつあるか。**

- ①熱中症が疑われる場合には、『我慢させない』『一人にしない』
- ②水を飲ませたら吐いてしまったので、スポーツドリンクに変更して飲ませた
- ③意識がはっきりしていたので、水の入ったペットボトルを自分で持たせて与えた
- ④こむら返りを発症しているので、現場に準備していたAEDを使って治療を試みた

イ 0            ロ 1            ハ 2            ニ 3

### 設問57

**ヒューマンエラーの記述として、誤っているものはどれか。**

- イ ヒトは近道をしたい、面倒なことを省略したいと、効率的に物事を進めようとして衝動的にリスクを受け入れる本能がある
- ロ パニックになると脳は正常に働かずに、ミスの連鎖を犯しやすくなる
- ハ 場面行動本能とは、ヒトの意識が瞬間的に一点に集中し、周囲が見えずに反射的に危険な行動をしてしまう本能のことである
- ニ ヒトの危険意識が単調な反復作業や準備作業の時には、エラーは発生しない

### 設問58

**リスクアセスメントの記述として、誤っているものはどれか。**

- イ 自分の経験に基づいて優先と思われるものからリスク低減対策を立て、対策を実施するとよい
- ロ リスクアセスメントの実施で、未然防止の安全管理、自主的な安全活動等ができるようになる
- ハ リスクはゼロにはならないので、残留リスク対策として個人が気をつけなければならない部分がある
- ニ リスクアセスメントを実施する時期は、機械・設備の設置時や変更時、作業手順などの作成時や変更時に行うとよい

**設問59**

**異常気象に対する備えや対応の記述①～④のうち、正しいものはいくつあるか。**

- ①緊急連絡表を作成し、関係連絡先、担当者及び電話番号を記入し、事務所、詰所等の見やすい場所に表示しておくといよい
- ②強風時の対応として、瞬間風速が10mに達したら作業を中止するとよい
- ③震度4の中震以下の地震では、特に作業を中止しなくてもよい
- ④大雨とは1回の降雨量が50mm以上、大雪とは1回の降雪量が25cm以上のことである

イ 0            ロ 1            ハ 2            ニ 3

**設問60**

**作業現場での直接指示の記述①～④のうち、誤っているものはいくつあるか。**

- ①実際の作業場所で指示をする
- ②作業内容を変更した場合、作業は一旦中止せず、完了後に確認をする
- ③相手が理解したか確認する
- ④指示どおりか、実際の作業をみて確認する

イ 0            ロ 1            ハ 2            ニ 3